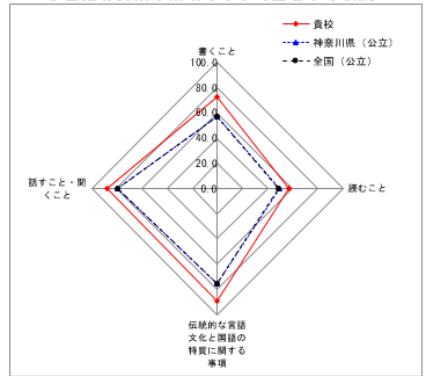


国語

集計結果

対象生徒数		横浜市立美しが丘中学校 101	神奈川県 (公立) 58,956	全国 (公立) 903,157	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体		14	76	65	64.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	87.8	79.8	79.8
	書くこと	3	72.3	57.2	57.1
	読むこと	4	56.4	49.6	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	88.4	75.6	75.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	86.8	56.1	56.0
	話す・聞く能力	3	87.8	79.8	79.8
	書く能力	3	72.3	57.2	57.1
	読む能力	4	56.4	49.6	48.5
	言語についての知識・理解・技能	4	88.4	75.6	75.1
問題形式	選択式	6	73.6	64.7	63.9
	短答式	4	88.8	74.8	74.4
	記述式	4	68.8	56.1	56.0

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



分析及び課題に対する手立て

全ての項目において神奈川・全国平均を上回る結果となった。特に「話すこと・聞くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では8割を超える結果となった。

授業の中でパネルディスカッションやスピーチなど、話す活動を重視して行った結果が表れている。

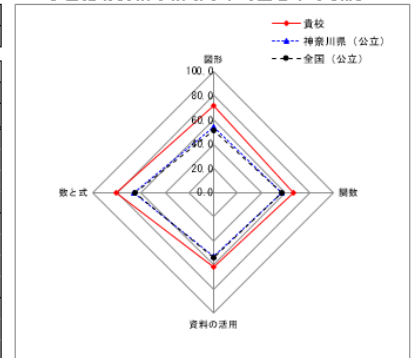
「読むこと」に関して、平均は上回っているものの正答率が低い傾向が見られた。「読むこと」の力の向上が今後の課題となる。小説では、登場人物の心情や関係などを的確に読み取る力・論説文では筆者の意見を正確に読み取る力の育成を目指したい。

数学

集計結果

対象生徒数		横浜市立美しが丘中学校 101	神奈川県 (公立) 58,985	全国 (公立) 903,253	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体		16	71	58	57.2
学習指導要領の領域	数と式	5	81.0	65.9	64.9
	図形	4	71.8	54.0	51.4
	関数	3	66.3	56.4	56.4
	資料の活用	4	82.1	59.4	59.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	7	57.7	49.2	41.1
	数学的な技能	3	88.8	76.0	77.7
	数量や図形などについての知識・理解	6	78.2	66.3	65.6
問題形式	選択式	2	69.3	59.7	52.4
	短答式	9	82.4	70.5	70.5
	記述式	5	51.9	37.3	35.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



分析及び課題に対する手立て

全ての項目において神奈川・全国平均を上回る結果となった。正答数の最頻値が13問14問であることと、正答数が低い生徒が少ないのが特徴である。普段からの課題への取り組みや、家庭での学習の成果が表れている。また、少人数授業を習熟度で分けた成果も見られた。

答えを求める方法を説明する問題や、グラフの特徴を基に説明する問いに関しては、正答率が低い傾向がみられた。事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる力を養う指導を目指したい。